

めざす子ども像

自信をもち何事にも挑戦する**園児・児童・生徒の育成**

取組目標

地域力によって育成する心豊かな子ども**【今年度の取組紹介】**

今年度も「歴史ウォーク」「わくわくフェスティバル in 奈高」「図書室開放」を3本柱に活動しました。

歴史ウォークは、朱雀小学校をスタートに、神功皇后陵、成務天皇陵、日葉酢媛命陵（ひばすひめのみことりょう）、瓢箪山古墳、大極殿をゴールとして歩きました。晴天に恵まれ、約70名を超える大人、子どもが参加しました。歩いている途中、子どもたちは瓢箪山古墳に登り、大きなどんぐりを拾いました。見たこともない大きなどんぐりに子どもたちは目を凝らして探し、持っていたビニル袋に詰め込みました。11月といえども汗ばむほどの陽気で、途中で上着を脱ぎ、半袖姿になる人もいるほどでしたが、皆笑顔でゴールを迎えたのが印象的でした。



わくわくフェスティバル in 奈高は、1月21日（日）に今年も奈良高校を会場に開催しました。各小学校からの出し物と中学校、高校からは部活動が参加し、それぞれ舞台発表やブースでの体験を行いました。この日は前日からの雨模様の影響を懸念しましたが、約870人の地域の人々が参加し、大いに盛り上がりました。

【今年度のまとめ】

歴史ウォークはコロナ後2回目開催となり、来年度で小学校区すべてをスタート地点に開催した事になります。また、わくわくフェスティバル in 奈高も2回目の開催となり、どの小学校、中学校も盛り上がりを見せています。今年も地域の子どもたち、家族が集い、楽しむことができたと思います。

【来年度に向けて】

来年度は、歴史ウォークは左京小学校がスタート地点になります。既に問い合わせもあり、楽しみにしている地域の方もおられ、地域で認知されている行事の一つになっています。今後も地域の子どもたちの健やかな成長のために取り組んでいきたいです。

めざす子ども像

自信をもち何事にも挑戦する**園児・児童・生徒の育成**

取組目標

知ろう、地域のすばらしさ！本物に触れる感動を子どもたちに！

【今年度の取組紹介】

今年度の途中から新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、今まで制限していた内容を再度見直し、開催しました。特に3年生は制限の中で入学してきたため、つながりを構築できぬまま進級しています。ぜひ地域の方とのつながりの再構築を考え、あらゆる場面でサポートしてもらいました。その中でも、1年時にできなかった命の授業を3年で再開しました。

はじめは、子どもたちも恥ずかしそうに聞いていましたが、助産師の方の熱意と真剣な眼差しの話に心を揺さぶられ、次第に子どもたちの表情も真剣になりました。

命の授業の後、子どもたちから助産師の方々へ会いに行き、質問や悩みを相談する場面もありました。今までならマスクをし、距離を取っていたため、できなかった場面です。少しでも今までできなかった内容を取り戻すことができました。

今後も、子どもたちのより良い成長を、適切なタイミングで適切な内容を、地域の方々に協力いただき、すすめたいです。



【今年度のまとめ】

今年度は特に3年生に、今まで新型コロナウイルス感染症が理由でできなかった内容を重点的におこないました。日常的には、昼休みの図書室運営、学習支援、面接練習などを地域の方にお世話になりました。特に、命の授業は1年、3年で行いますが、今年度3年生は、1年できなかった内容も一緒に盛り込み、とても充実した内容になりました。

【来年度に向けて】

今後も子どもたちが心身ともに健やかに成長できるよう、地域の方々にご協力いただき、常にあらゆる角度から確認、見直し、運営したいです。

めざす子ども像

自信をもち何事にも挑戦する園児・児童・生徒の育成

取組目標

学校・家庭・地域が一体となって子どもの教育にあたり、子どもたちが感動するような体験活動を通じた魅力あふれる取り組みの継続と地域人材の活用・発掘**【今年度の取組紹介】**

本校は毎年『奈良・人と自然の会』の地域の皆さんに協力いただきながら水稻栽培体験を実施しています。今回で15回目となりました。

6月の田植えでは事前学習として古代米『さよむらさき』についての歴史や米の栽培の仕方などを教えていただきました。田植え当日は泥の中に素足で入り、子どもたちは今まで体験したことのない感触に驚いていました。最初は恐る恐る植えていましたが、徐々にコツをつかんでスムーズに植えることができました。

10月には立派な稲穂が実り、稲刈りの季節となりました。秋晴れのもと、せっせと鎌を使って刈り取り作業をしていく子どもたちは6月の田植えの時よりも頼もしく、稲の成長とともに子どもたちの成長も感じることができました。11月には5年生が刈り取った「さよむらさき」を給食で出させていただきました。地域の方もお招きして全校でおいしくいただきました。地域の方へお礼の気持ちを込めて巾着袋を作成し、プレゼントしました。地域の皆さんにとっても喜んでいただきました。

**【今年度のまとめ】**

水稻栽培体験を通して、栽培することの苦労や収穫した時の達成感、米作りの歴史などを学ぶことができました。田植えから脱穀作業まですべて手作業でし、お米としてやっとなりにしたときの感動と喜びは子どもたちの大切な心の糧となったことでしょう。地域の方々をはじめ、たくさんの方々を支えられて生活していることを実感できるよい機会となりました。

【来年度に向けて】

様々な取組は長期的な視野に立ち、事業を継続的に行うことにより大きな成果が得られると考えます。来年度も活動内容の工夫・精選を検討し、本事業を継続していきたいと考えております。年間を通じてたくさんの体験と経験ができました。

めざす子ども像

自信を持ち何事にも挑戦する児童の育成

取組目標

子どもたちが地域を知り、地域の人達との繋がりを意識するとともに、豊かな感性や様々な知識・技術を身につけて成長していける取組の充実を目指す

【今年度の取組紹介】

今年度は、これまで6年生のみで実施してきた「英語でアート」をすべての学年で実施することができました。昨年に引き続きアーティストのドミニク・ルトランジェ先生を講師として招き、活動中はすべて英語とジェスチャーでコミュニケーションをとりながら創作活動に取り組みました。1年生は「大好きな生き物」、2年生は「見たこともない魚たち」、3年生は「色と音の街」、4年生は「1/2 成人式」、5年生はシンメトリーな仮面、6年生は「生命の樹」をテーマにしながら、ドミニク先生の声かけで、既存の概念にとらわれない自由な発想で活動することで、想像力豊かで個性あふれるアート作品が完成しました。どの子どもも楽しみながら創作することができました。

この体験を経て子どもたち一人ひとりが自信を高め、友達のよさやすばらしさを見つけ合うことができました。



【今年度のまとめ】

今年度特別に実施した全学年の「英語でアート」では、普段体験できない貴重な体験・学びの機会を得ることができました。継続して取り組んでいる4年生の「防災学習」、3年生の「左京の森での花の苗植え」、全校での「クリーン左京」では、地域の方に教えていただいたり、地域の方と一緒に取り組んだり、地域の方に協力していただいたりしながら、活動を豊かにして学びを広げることができました。また、今年度新たに取り組んだ4年生の「福祉体験学習」では、左京地域にある福祉センターの協力も得ることで、新たなつながりを構築することができました。

【来年度に向けて】

今後は、地域とのつながりを大切にした取組を段階的にすべての学年に広げ、6年間を通じて様々な形で子どもたちが左京の地域を知り、さらに左京のまちが好きになれるよう取り組んでいきたいです。そのためにも、引き続き地域や保護者のみなさまに広く協力を得ながら取組を継続させ、少しずつ豊かな活動を構築していきたいと考えています。

めざす子ども像

自信を持ち何事にも挑戦する園児・児童・生徒の育成

取組目標

地域とのつながりを意識できる学習環境整備に取り組みながら、子どもたちに地域とのつながりを感じられる取組の充実

【今年度の取組紹介】

(1) 学習支援事業「茶道を体験しよう」

毎年、放課後子ども教室で「茶道を体験しよう」でお茶の指導をしていただいています。最終日は、親子で参加しました。子どもが親にお茶をたててそのお茶を親が飲みました。お茶を飲んだ保護者は子どもに「結構なお手前でした。」と話す、子どもはにっこり微笑んでうなずいていました。参加した親子にとってとても良い時間を過ごすことができたようでした。



(2) 学習支援事業「車椅子体験活動」

2月20日の日に体育館で車椅子体験活動を行いました。今年も地域の福祉協議会の方達のご協力により車椅子を借りることができ、実施しました。子ども達は交代で車椅子に乗る人、車椅子を押す人になり、体育館でマットや長机を使って通路を作り、そこを通る体験をしました。マットの上を通るときは押す人は力を出さないと車椅子を押すことができず、車椅子に乗っている人も「バランスを取りながら乗るのはむずかしい。」と感想を話してくれました。

(3) 学習支援事業「収穫祭」

収穫したさつまいもを使って、やきいもを作りました。地域の方々の協力のもと楽しく取り組むことができました。

【今年度のまとめ】

今年度はコロナ禍前の活動を再開することができました。茶道の体験活動も親子で参加を行うことができました。夏祭りも今年度は再開され、たくさんの方でにぎわいました。今年もさまざまな事業で子どもたちが楽しそうに活動をしている姿を見ることができました。

また、環境整備事業では長年、図書ボランティアの方々が図書室の本の整理や修理を行っていただいたことにより表彰を受けられました。朱雀小学校はこういった地域の方々に支えられています。ほんとうに感謝の気持ちでいっぱいです。

【来年度に向けて】

環境ボランティア、図書ボランティアさまざまな地域の方々にご協力いただいている、子どもたちが楽しく安全に学校生活を送ることができています。来年度はこういった方々に子どもたちが感謝の気持ちを伝える取組を進めていきたいです。

めざす子ども像

自信を持ち何事にも挑戦する園児・児童・生徒の育成

取組目標

地域の身近な人と関わる中で、心豊かに生き生きと生活する子どもの育成

【今年度の取組紹介】

・お話の会

読み聞かせボランティアの方のご協力で、毎月複数回実施することができました。季節の木の実（マツボックリ）を入口が小さな瓶の中に入れたものを用意して、どうやって入ったのか一緒に考え、木の実のお話を読んでくださるなど、子どもたちが興味を持てるように、想像力を掻き立てるように進めてくださるので、子どもたちは毎回来てくださるのをとっても楽しみにしています。年齢や季節に応じた絵本や素話、エプロンシアターや手作り紙芝居などを考えて用意してくださったことで、お話の世界をともに楽しみ、心を通わす温かい時間を過ごすことができました。子どもたちに、聞く力、優しい気持ち、共感力、想像力など、多くの力が育ってきています。



・オカリナ教室



やさしい音色のオカリナの演奏を聞かせてもらったり、実際に触って重さやさわり心地を確かめたり、穴の数を数えたりしました。この3年間、コロナで音楽、特に吹く楽器に触れることができなかったのも、とても貴重な経験でした。初めてのことに出会い、子どもたちの興味関心が広がり、どうなっているんだろうという好奇心が高まりました。

【今年度のまとめ】

- ・継続して地域の方と交流を図ることができました。お話の世界を楽しんだり、サツマイモの世話を一緒にしたりすることができ、楽しさを共有したり思いを温かく受け止めていただいたりして情緒面での成長につながりました。
- ・おもしろ理科実験・体操教室に加えて、オカリナ教室や南京玉すだれ教室など日本の伝統文化や音楽の世界にも触れ、興味や関心が広がり、意欲や自信につながっています。

【来年度に向けて】

- ・子どもたちの豊かな経験につながるよう活動内容を見直しながら、地域の方とのふれあいやかわりを、計画的・継続的にもてるよう進め、地域に根ざしたこども園をめざしていきたいと思います。

めざす子ども像

自信をもち何事にも挑戦する園児・児童・生徒の育成

取組目標

地域の方との連携を図り、子どもたちが様々な人との触れ合いを楽しんだり、体験に参加する楽しさを味わったりする中で、自尊感情や活動意欲を高める。

【今年度の取組紹介】

毎月、朱雀お話の会の方に来ていただき、絵本の読み聞かせをしていただいています。子どもたちは、お話をとても楽しみにして「今日のお話は何かな？」とワクワクしながら、目を輝かせて聞いています。物語の展開に「〇〇はどうなるの？」と、登場人物を心配してドキドキしたり、楽しいお話に喜んだりしています。腹話術のケンちゃんが登場すると、「ケンちゃんだ！」と言って、子どもたちの楽しい笑い声も聞かれます。「長いお話も、集中して聞いてくれてありがとうございます」とお話の会の方からの声も聞かせていただきました。たくさんの絵本に親しみ、想像力や豊かな感性を育んでいます。



ふれあい会館の畑で、5歳児が地域の方と一緒に大根の収穫やサツマイモの苗植え、芋ほりをさせていただきました。地域の方がサツマイモのお世話もして下さり、立派なお芋が育ち収穫することができました。「大きいお芋掘ったよ」「重たいな」と言いながら友達とお芋



を見せ合うことを楽しんでいました。焼き芋パーティーで、地域の方と一緒にホクホクのお芋をいただき、「美味しい」「もっと食べたい」と嬉しそうに話していました。野菜を収穫したり、食べて美味しさを知ったりして、食への興味を持つことができ、食育にも繋がりました。

また、おもしろ不思議理科実験では、実験を通して、楽しく「科学の不思議」に触れることができ、様々な科学事象に興味を持ち、探究する力を育むことに繋がりました。防災教室では、火災の紙芝居や防災のお話をしていただき、安全に過ごせることの大切さを感じることができました。

【今年度のまとめ】

地域の方々にご協力を頂き、「お話の会」「野菜の収穫」「理科実験」「防災教室」「木工製作」「体操教室」など、子ども達は様々な体験や経験を通して、豊かな感性を育むことができました。地域の方々と触れ合い、親しみを感じながら意欲的に活動する姿に繋がったと思います。また、ホームページやドキュメンテーションを通して、活動内容や大切にしていることを発信することで、地域や保護者に取組を広めることができたと思います。

【来年度に向けて】

活動内容の充実を図り、地域の方々と相談しながら計画し共に活動を進めていきたいと思っています。また、地域や校種間の交流を通して、地域や小学校・中学校を身近に感じられるように取り組んでいきたいと思っています。